

年次目標【3年次】

- 学力の向上
- 進路目標の実現
- 人間力の向上



# JUMP

平成30年4月21日(金)発行 第2号

## 模試の活用

### 模試の活用術

四月も後半になり、三年生になった実感もじわじわとわいてきていることでしょう。勉強やら部活やら、学校生活は順調に進んでいますでしょうか。

さて、来週の月曜日は、創立記念日ですね。一年次の時も二年次の時も、ちょうど週末にぶつかり、えっ、創立記念日って休みなんだっけ？と思っている人も少なくないと思います。安心して下さいね。創立記念日はちゃんと、授業日ではないのですよ。よかったですね。

ですが、ここまで引っ張っておきながら、残念なお知らせです。今年の創立記念日は三年生最初の模擬試験の実施日になっています。やれやれといったところでしょうが、ここはひとつ諦めて、模試に集中してほしいと思います。

模試の活用としては、志望校の判定を知ること以外に、次の重要なことが三つあります。

- ① 基礎から応用力の定着力をみる。
- ② 弱点・苦手分野を洗い出す。
- ③ 解答手順・時間配分のコツをつかむ。

その中でも大きいのが③の解答手順・時間配分のコツをつかむということではないかと私は思います。自分にあった解答手順や時間配分をみつけて下さい。

記憶が新鮮な1週間以内には復習したい。

### 模試の活用術！

「堂雪時代 2017 10月号」による

#### 【模試の復習はいつやる？】

- ・受けた当日（32%）
- ・受けた翌日（24%）
- ・受けた日から1週間以内

上位校合格者へのアンケートによる

#### 【模試の復習はどのように取り組んだか】

・マーク模試で間違えた問題をコピーしてノートに貼り付けて、下に解き方を書き込んでオリジナル問題集を作り、次回の模試前と試験本番前に再度復習できるようにした。（宇都宮大学 教育学部Sさん）

・間違えた問題はもちろん、**正答していた問題も解説を読み**、どうしてその答えになるのかを逐一確認した。また、該当する教科書、参考書等の内容に目印をつけ、常に見直せるようにしていた。

（信州大学 人文学部Nさん）

・解説で不可解なところは**先生に聞きたい教科書で調べたい**。（鹿児島大学 医学部医学科Tさん）

解説を読んで間違いの箇所を把握し、ノートに整理。教科書参考書も活用。

#### 【海一の先輩たちの模試の活用法】

「平成29年度 進学要覧」より

3年生になると模試が毎月あるので、一つ一つに全力で取り組めるようにしました。模試を解き直して、苦手な分野は参考書や問題集の、その分野のところをもう一度丁寧に見直すようにしました。それと僕は理系だったので、ただ答えを出すだけでなく、「なぜそうなるのか」ということを常に考えるようにしていました。少し時間はかかりますが、一度しっかり理解するとなかなか忘れませんし、応用も利くようになると思います。（静岡大学 理学部生物学科 城間 亮一先輩）

間違えたところを何度も復習することが模試を行う一番の意味だと思います。苦手とする単元が本番で出て来ても絶対に解ける、という気持ちになるまで復習することが大切です。これが出来ると、志望校合格への道が一步近づきます。

（早稲田大学人間学部 本間元耶先輩）